

2023 年度(令和 5 年度)事業報告

2023 年度は「地域住民がより健康で、より元気で、心豊かに過ごせるよう、学校、地域、行政と連携して、地域の活性化およびスポーツ・文化活動の拡大に尽力致しました。

令和 5 年 5 月 8 日に「新型コロナウイルス感染症」の位置づけが「5 類感染症」に移行され、VOSC としてもあらゆる行事が開催できることとなりました。以下にご報告申し上げます。

(1) 地域住民の心身の健康づくり支援事業

「健康は長寿への第一歩」をうたい文句に月 4 回開催の「いきいき健康体操教室」は、体育館を利用した活動となっています。

健康の街若葉台での健康に対する意識の高さはあり続け、ワクチン接種も進み積極的な活動となっています。毎月の「健康呉式太極拳講習会」「健身気功講習会」も体育館で開催され多くの方が参加されています。

(2) スポーツ活動事業

スポーツ大会も、基本的な感染症拡大防止対策をし開催をしてまいりました。テニス大会を始め三世代輪投げ大会、卓球大会、ペタンク大会、地域交流ソフトボール大会、モルック大会、グラウンドゴルフ大会、3×3 バスケットボール大会、地域交流ソフトバレーボール大会を計画し進めてまいりました。しかしながらナイターフットサル大会と地域対抗ソフトバレーボール大会は、参加チームが揃わず開催には至りませんでした。

正月マラソンについては、主催団体の若葉台走友会が解散をし、開催することができませんでした。同じ理由により駅伝大会も見送りとなりました。

テニススクールは、一般の部は日曜 4 回・水曜 4 回の計月 8 回開催。ジュニアの部も日曜 4 回・水曜 4 回の計月 8 回開催。テニス好きの受講者が熱心に通われています。

(3) 文化活動事業

電子顕微鏡でミクロを観る会主催の市民教養講座では、第 28 回「飛行機からどうやって CO2 を減らすか」講師：室井高城氏、第 29 回「微生物の生産物が人類の進化をもたらした！」講師：和地正明氏、第 30 回「日本発の次世代パワー半導体用新素材 酸化ガリウムの開発」講師：山腰茂伸氏、第 31 回「あふれる光をエネルギーに！テラワット・チャレンジ（太陽光発電と人工光合成）」講師：荒川裕則氏。そのほか若葉台中央学童保育所にて出前理科授業「マグデブルグの半球」。子ども科学教室を 4 回実施、夏休み子ども広場で「人工イクラ乃作り方」を 2 回に分けて開催いたしました。

市民図書館 (SOLA) は、火曜・木曜・土曜・日曜日開館です。来館者総数 3,149 名、図書貸出総数 4,678 冊でした。おはなし会「絵本の読み聞かせ」を毎月 1 回開催を予定しておりましたが、4・6・8・9・10 月は未開催となりました。

正月書き初めについては、4 年ぶり 11 名の小学生の参加がありました。

文化教室は油絵教室・中国語教室・書道教室・二胡教室・クラリネット教室の受講生の皆さんは熱心に受講されており、年々レベルが上がってきています。

(4) スポーツ・文化活動に必要な施設開放事業

38 年間続いている学校開放施設（校庭・体育館・格技場・特別教室等）と公園運動施設（日向根テニスコート・日向根球場・若葉台球場・大貫谷テニスコート）を利用し

て活動しているサークルが数多くあり、日々色々なスポーツ種目・文化種目で活動をしており、これらの施設利用の調整・管理・運営をクラブで行っております。この長く続いているスポーツ・文化のサークル活動が、若葉台の元気を持続させ、対外的にも元気な高齢者が多い地域として、近年マスコミでの報道や、福祉関係の海外からの視察が増えている要因になっており、自他ともに自慢できる地域となっていることに、この事業の重要性を感じています。感染症対策の位置づけが「5類感染症」に移行され、横浜市発行の「学校開放事業に関する注意事項」（令和5年4月28日版）、その内容の事業実施条件・利用者の感染が判明した場合の取り扱い指示に従い、施設開放事業を実施してまいりました。内容の周知も含め、その対策実践により施設開放による感染拡大は防ぐことができました。

(5) 地域支援事業（運動会、文化祭）

若葉台大運動会は4年ぶりの開催となりました。実行委員会の中で競技内容も見直しをかけ、前述の理由により「ロードレース」は無しとし、「大縄跳び」「二人三脚」も見送りとしました。2019年度の反省会で提案のあった「予備日」についても行わないことと決定がされました。自治会対抗での優勝争いはなく、競技ごとの表彰をする形で開催いたしました。その中でも4年ぶりの開催となり1144名の参加を頂きました。久しぶりに子どもたちの元気な姿を見ることができました。

文化祭についても、4年ぶりのステージ開催。音楽祭の部13団体、芸能祭の部8団体そしてグランドフィナーレとして若葉台中学校吹奏楽部がステージを飾りました。各団体が久々のステージで元気いっぱい愉しく披露して頂きました。催事部門では10の団体、展示部門ではそれぞれ絵画68、手芸・工芸38、絵手紙11、写真19、書51、俳句18の個人・団体の出展を頂きました。

(6) 青少年支援事業

週2回開催のジュニアテニススクールには元気な子どもたちが参加しており、年々上手になっています。新しき参加される方もあり友達を誘って、大勢参加いただくようになりました。太陽の下、元気いっぱい頑張っており取り組んでいます。令和5年は異常な暑さで熱中症警戒アラートが発令されるなどでその対応で中止せざるを得ない場合もありました。

チアリーディング教室は概ね月3回開催し、延べ人数で432名が受講し、感染予防策を講じながらの活動で、元気な小学生でいっぱいです。

夏休み子どもの広場は昨年同様の開催となりました。感染症対策もそうですが、熱中症対策を十分行い実施することができました。

わかばデイキャンプが4年ぶりに旧若葉台西中学校で開催しました。参加者は、11家族40名。3グループに分かれて、グラウンドゴルフ、ニュースポーツ（ボッチャ・シャッフルボード・輪投げ）、モルックを楽しみました。今回初めてとなる「キャンドルバックづくり」を行い、その後みんなでカレーづくり。カレーを食べたあとは、日没後キャンドルバックを囲み、ゲームや歌を歌いました。最後は手持ち花火を行い、昼から夜まで一日たっぷり遊んで、夏の思い出ができました。

(7) その他

旭区さわやかスポーツグラウンドゴルフ交流会（2023年12月2日）への協力、学校、地域と連携し、地域コミュニティの形成に努めてまいりました。オール若葉台を対象とする連合自治会、社会福祉協議会が主催する行事にも協力してまいりました。また、若葉台まちづくりセンター・地区センター・住宅管理組合連絡協議会・各自治会と協調する事業にも協力してまいりました。

対外的には、横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会主催の交流会の事業は昨年に引き続き旧若葉台西中学校校庭・体育館等で2月19日に開催することができました。

本クラブは、日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ協議会の登録クラブとして認定申請し、認可されております。自クラブの状態を定期的に見直し、持続可能なクラブ運営に役立てて生きたいと思っております。

今後もより多くの方々にスポーツ・健康・文化活動に参加いただき、健康長寿で楽しい毎日を過ごしていただきたいと思っております。そして、関連組織と連携してよりしっかりしたクラブに成長させたいと思っております。

今後とも、宜しくお願い申し上げます

令和5年度 事業報告書

法人の名称 NPO 法人若葉台スポーツ・文化クラブ

1 事業活動概観

NPO 法人設立14年目は、「旧若葉台西中学校跡地」の暫定処置問題について横浜市財政局主導の急速な動きがでてきた重要な年度となりました。

一方で令和5年5月8日に「新型コロナウイルス感染症」の位置付けが「5種感染症」の位置付けに移行され、マスク着用が個人判断となったことなどから、若葉台の多くの組織・団体が密を避けることなどの基本的な対策を取りながらも活発な活動がなされるようになりました。

当法人も運動会、文化祭、単位自治会に対するいわゆる10大イベント等「スポーツ・文化の拠点」としてコロナ以前に催行していた行事につき若干の規模縮小や高齢化による参加者減で中止せざるを得なかった行事もあるものの、自主開催の講座の維持、テニススクールの初心者向けクラスの拡大も含めてほぼ復活あるいは持続して活動が出来た年度となりました。特に地域支援事業についてはコーディネーター役割をも担当いたしました。

今後も持続可能なまちづくりに寄与する、寄与できる、地域の方々にスポーツ・文化活動に参加いただき、若いも若きもまた子どもたちも健康で楽しい毎日をご過ごして行けるよう文化芸術スポーツの活動拠点としての法人運営を持続可能な形で行ってゆくことを追求してゆきます。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 地域住民の心身の健康作り支援事業

- ・ 内 容 だれもが気楽に参加できる健康作り事業
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 体育館等
- ・ 従事者人員 30人
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 1,000人
- ・ 支 出 額 1,241,260円 (配賦込: 1,650,774円)

② スポーツ活動事業

- ・ 内 容 だれもが気楽に参加できるスポーツ大会、教室等
- ・ 日 時 通年

- ・ 場 所 地域グラウンド、体育館等
- ・ 従事者人員 50人
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 4,000人
- ・ 支 出 額 781,740円 (配賦込: 1,289,947円)

③ 文化活動事業

- ・ 内 容 だれもが気楽に参加できる文化行事、イベント等
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 体育館、特別教室等
- ・ 従事者人員 50人
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 2,000人
- ・ 支 出 額 2,281,240円 (配賦込: 3,407,414円)

④ スポーツ・文化活動に必要な施設開放事業

- ・ 内 容 施設内スポーツ文化施設開放
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 若葉台小中学校体育施設等
- ・ 従事者人員 30人
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 10,000人
- ・ 支 出 額 2,762,213円 (配賦込: 11,769,483円)

⑤ 地域支援事業

- ・ 内 容 各種事業への支援
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 若葉台開放施設
- ・ 従事者人員 50人
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 2,500人
- ・ 支 出 額 1,769,445円 (配賦込: 3,862,491円)

⑥ 青少年支援事業

- ・ 内 容 青少年スポーツ文化活動支援
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 旧若葉台西中学校ほか
- ・ 従事者人員 10人
- ・ 対 象 者 若葉台及び周辺住民 500人
- ・ 支 出 額 920,845円 (配賦込: 1,535,121円)

所轄庁提出様式

活動計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

NPO法人若葉台スポーツ・文化クラブ
(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	190,000	
賛助会員受取会費	166,000	
受取会費 計		356,000
2. 事業収益		
利用会員(年会費)	2,191,000	
開催事業参加費	5,773,250	
施設管理運営協力費	10,782,450	
公園施設管理受託事業	264,000	
地域支援 事業(自治会関係)	1,473,410	
事業収益 計		20,484,110
3. 寄付金		
寄付金	170,000	
寄付金 計		170,000
4. 雑収入		
雑収入	1,400,895	
雑収入 計		1,400,895
5. その他収益		
受取利息	0	
その他収益 計		0
経常収益 合計		22,411,005
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
給料手当	9,613,425	
法定福利費	624,403	
通勤交通費	44,000	
人件費 計	10,281,828	
(2)その他費用		
福利厚生費	3,902	
諸謝金	4,990,555	
旅費交通費	22,200	
会議費	417,864	
通信運搬費	439,217	
消耗備品費	2,256,795	
事務用品費	117,804	
新聞図書費	3,080	
印刷製本費	462,536	
修繕費	397,827	
燃料費	98,997	
広告宣伝費	38,796	
賃借料	218,343	
保険料	316,260	
水道光熱費	18,584	
電気代	362,950	
業務委託費	2,561,300	
外注費	62,211	
諸会費	1,375	
交際費	46,687	
支払手数料	54,217	
租税公課	57,400	

雑費	17,134		
減価償却費	267,368		
その他費用 計	13,233,402		
事業費 計		23,515,230	
2. 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	480,000		
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費 計	480,000		
(2)その他費用			
福利厚生費	13,158		
旅費交通費	27,756		
会議費	135,609		
通信運搬費	6,060		
消耗備品費	34,199		
事務用品費	11,484		
新聞図書費	200,000		
印刷製本費	520		
賃借料	30,000		
業務委託費	73,900		
外注費	60,500		
交際費	9,757		
支払手数料	1,155		
ソフトウェア使用料	2,378		
その他費用 計	606,476		
管理費 計		1,086,476	
経常費用 合計			24,601,706
当期経常増減額			-2,190,701
Ⅲ 経常外収益			
過年度損益修正益		6,187,828	
経常外収益 計		6,187,828	
Ⅳ 経常外費用			
過年度損益修正損		113,414	
経常外費用 計		113,414	
税引前当期正味財産増減額			3,883,713
当期正味財産増減額			3,883,713
前期繰越正味財産額			12,616,392
次期繰越正味財産額			16,500,105

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	368,574	
小口現金(両替用)	30,500	
当座預金(郵貯振替口座)	5,104,245	
普通預金(浜銀利用会員)	2,428,336	
普通預金(浜銀運営協力)	1,696,705	
普通預金(スルガ銀行)	46,007	
前払金	72,707	
流動資産合計		9,747,074
2. 固定資産		
有形固定資産(建物付属品)	533,137	
特定積立預金		
浜銀(周年事業積立)	1,400,000	
浜銀(テニスコート修繕積立)	3,500,000	
浜銀(マイクロバス修繕積立)	1,987,828	
特定積立預金 小計	6,887,828	
固定資産合計		7,420,965
資産合計		17,168,039
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	197,273	
-給料・交通費	80,900	
-社会保険料	116,373	
前受金	96,000	
法定預り金	374,561	
-源泉所得税(給与)	96,430	
-源泉所得税(給与以外)	18,988	
-市民税県民税	5,600	
-健康保険料	86,431	
-厚生年金保険料	140,178	
-雇用保険料	26,934	
仮受金	100	
流動負債合計		667,934
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		667,934
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産の部		12,616,392
当期正味財産増減額		3,883,713
正味財産合計		16,500,105
負債及び正味財産合計		17,168,039

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	399,074		
-本部現金	368,574		
-小口現金(両替用)	30,500		
当座預金	5,104,245		
-郵貯振替口座	5,104,245		
普通預金	4,171,048		
-浜銀利用会員	2,428,336		
-浜銀運営協力	1,696,705		
-スルガ銀行	46,007		
前払金	72,707		
流動資産合計		9,747,074	
2. 固定資産			
有形固定資産(建物付属設備)	533,137		
特定積立預金	6,887,828		
-浜銀(周年事業積立)	1,400,000		
-浜銀(テニスコート修繕積)	3,500,000		
-浜銀(マイクロバス修繕積)	1,987,828		
固定資産合計		7,420,965	
資産合計			17,168,039
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	197,273		
-給料・交通費	80,900		
-社会保険料	116,373		
前受金	96,000		
法定預り金	374,561		
-源泉所得税(給与)	96,430		
-源泉所得税(給与以外)	18,988		
-市民税県民税	5,600		
-健康保険料	86,431		
-厚生年金保険料	140,178		
-雇用保険料	26,934		
仮受金	100		
流動負債合計		667,934	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			667,934
正味財産合計			16,500,105

【財務諸表の注記】

1. 重要な会計方針

2023年(令和5年)度より計算書類の作成は、NPO法人会計基準によるee-booksにて作成しています。

2. 事業別損益の状況

ee-booksの事業別活動計算書により、事業費のみの内訳表示を行っています。(事業別活動計算書に添付しました)

【注記用】 令和5年度事業別費用内訳

(単位：円)

	健康作り	スポ活動	文化活動	施開：公園	施開：学校	地域支援	青少年支援	合計
給料手当	307,629	374,923	845,981	3,633,874	2,451,423	1,538,148	461,447	9,613,425
法定福利費	19,980	24,351	54,947	236,024	159,222	99,904	29,975	624,403
通勤交通費	1,280	1,560	3,520	15,120	10,200	6,400	5,920	44,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	3,902	0	3,902
諸謝金(講師等)	1,241,260	572,500	2,234,693	0	0	30,000	912,102	4,990,555
旅費交通費	0	1,000	13,200	0	4,000	4,000	0	22,200
会議費	0	19,494	0	0	0	398,370	0	417,864
通信運搬費	13,538	16,500	37,231	166,746	107,886	77,005	20,311	439,217
消耗備品費	0	121,379	33,347	398,086	841,968	859,320	2,695	2,256,795
事務用品費	0	0	0	0	78,492	39,312	0	117,804
新聞図書費	0	0	0	0	3,080	0	0	3,080
印刷製本費	0	0	0	18,634	119,605	324,297	0	462,536
修繕費	0	0	0	236,027	151,800	10,000	0	397,827
燃料費	0	0	0	24,546	74,451	0	0	98,997
広告宣伝費	0	9,064	0	0	16,500	13,232	0	38,796
賃借料	5,684	9,818	15,633	67,151	45,300	66,227	8,530	218,343
保険料	8,190	70,292	22,523	96,752	65,267	40,953	12,283	316,260
水道光熱費	0	0	0	0	18,584	0	0	18,584
電気代	0	0	0	0	362,950	0	0	362,950
業務委託費	50,377	61,398	138,538	1,432,087	523,446	279,888	75,566	2,561,300
外注費	0	4,211	0	0	58,000	0	0	62,211
諸会費	0	0	0	0	0	0	1,375	1,375
交際費	0	0	0	0	0	46,687	0	46,687
支払手数料	452	551	1,243	23,561	14,154	12,921	1,335	54,217
租税公課	1,836	2,238	5,051	21,697	14,637	9,184	2,757	57,400
支払保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	548	668	1,507	6,476	4,369	2,741	825	17,134
減価償却費	0	0	0	0	267,368	0	0	267,368
合計	1,650,774	1,289,947	3,407,414	6,376,781	5,392,702	3,862,491	1,535,121	23,515,230